

◎北陸地方の1ヶ月予報(5/16~6/15)

新潟地方気象台5月14日現在

・天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は高くなるでしょう。

こしいぶきも遅れずに!



## 1. 中干しと溝切りについて

『柏崎・刈羽地域は、茎数過剰・籾数過剰の年は米の品質が下がる傾向にあります!』

適期に中干しを行うことで、生育や籾数の過剰を防止することができ、「未熟粒」や「心白粒」が減少し品質が向上します。また、梅雨入り前に中干しに入ることで、地耐力を確保できます。

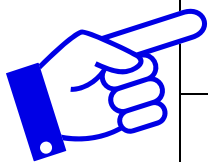
## 「田植え1ヶ月後を目安」

①中干しはどの品種も「田植え1ヶ月後を目安」に開始しましょう。

・生育不良ほ場や、茎数が増えにくいほ場でも開始時期は変えず、終了時期を早めましょう。

【田植え日による中干し開始時期の目安】

田植え日	5月5日頃	⇒	中干し開始	6月5日~
田植え日	5月10日頃	⇒	中干し開始	6月10日~
田植え日	5月15日頃	⇒	中干し開始	6月15日~

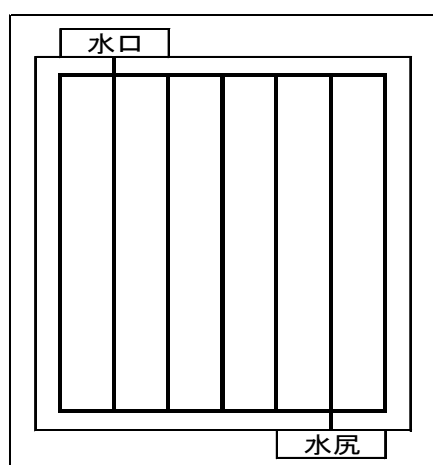


## ②中干しの強さ、終了時期

- ・田面に小ヒビが入り(右図参照)、足跡がついて歩ける程度が強さの目安です。ヒビが入り始めたらかん水を開始し、過度の土壤乾燥によって大ヒビが入らないように注意しましょう。
- ・遅くとも出穂1か月前には中干しを終了しましょう。終了時期が遅くなりすぎると、根の伸びが悪くなり出穂後の栄養凋落を招きます。



《中干し終了のイメージ》



《溝切りのイメージ図》

## ③溝切りの実施

- ・中干し後の水管理や、緊急時(フェーン現象時のかん水・長雨時の排水など)の水管理を迅速に行うために溝切りを実施しましょう。
- ・10条おきを目安に溝を切り、水口・水尻と溝を連結させて確実に水が流れるようにしましょう。

## 2. 飽水管理（中干し以降の水管理）

〔飽水管理〕 ・ 田面の足跡や溝に水がたまっている状態を保つ水管理

〔目的〕 ・ 心白粒の発生を抑え、玄米を充実させる。




・ 排水が悪いほ場では、自然に水が減るまで待たず、落水して水の入れ替えを行きましょう。湛水状態が長期間になると根腐れの原因になります。



## 3. 病虫害防除

- ・ 斑点米の原因となるカメムシ類の増殖を防ぐため、畦畔の除草を行きましょう。
- ・ 特別栽培米に取り組んでいる方は、成分回数の上限を超えないように確認をお願いします。

対象	薬剤	使用量(10a)	使用時期	散布時の水位	備考
いもち病 ＋ 紋枯病	イモチエース粒剤	3kg	出穂 20～10 日前 (収穫 35 日前まで)	3～5cm	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早生品種、新潟次郎（飼料用米）は発生しやすいので、良く観察し、適期防除を心がける。</li> <li>・ 前年多発生したほ場や生育が過剰な場合は予防防除に努める。</li> </ul>
いもち病	オリゼメート粒剤	3～4kg	6 月上～中旬頃 (収穫 14 日前まで)	3～5cm	
	ブラシン粉剤 DL	3～4kg	発生直後 又は 穂揃い期 (収穫 7 日前まで)	—	

(登録状況：H27.5.13 日現在)

## 4. 雑草防除

- ・ 高温気象や多肥栽培では、雑草の生育が早まる可能性があります。ほ場をよく観察し除草剤散布が遅れないようにしましょう。
- ・ 特別栽培米に取り組んでいる方は、成分回数の上限を超えないように確認をお願いします。

薬剤名	10a あたり使用量(散布液量)	使用時期 (使用期限)	散布時の水位	対象雑草			
				ヒ(葉齢)	アノ類	ホムイ	クグワイ
クリンチャー 1 キロ粒剤	1.0kg	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期 (収穫 30 日前まで)	3～5cm	4～5 まで	×	×	×
	1.5kg	移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 (収穫 30 日前まで)					
バサグラン粒剤	3～4kg	移植後 15 日～50 日※ ※対象雑草により異なる (収穫 60 日前まで)	落水か ごく浅水	×	◎ 移植後 15～50 日	◎ 移植後 15～50 日	◎ 移植後 15～35 日
クリンチャーバス ME 液剤	1000ml (70～100 l)	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期 (収穫 50 日前まで)	落水か ごく浅水	5 まで	◎	◎	◎

(登録状況：H27.5.13 現在)

## 5. 中干し指導会のお知らせ

- ・ 6 月 3 日より中干し指導会を各地域で開催いたします。日時・会場は、別途回覧の『中干し指導会の案内』を確認いただき、参加ください。

～農薬の安全使用を徹底しましょう～

1. 農薬を使用するときは、農薬使用基準（適用作物、使用量・回数・時期）を厳守する。
2. 防除前に、器具の洗浄、清掃が十分であるか確認してから使用する。
3. 農薬の散布に当たっては、飛散しないように風向きなどに細心の注意を払う。
4. 農薬の調整時や散布時には、手袋やマスク、長袖などを着用し、薬剤が直接触れないようにする。

【お問い合わせ先】

JA 柏崎営農指導課 21-2095  
 JA 中央柏崎支店 23-3411  
 JA 南部高田支店 22-5165  
 JA 東部田尻支店 22-5264  
 JA 北部西中通支店 23-2357  
 JA 高柳支店 41-2244  
 JA 刈羽支店 45-2255  
 JA 西山支店 47-2001  
 柏崎農業普及指導センター 21-6263

平場版 No.4

次回発行日：6 月 19 日  
穂肥～水管理

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区  
 柏崎農業普及指導センター（柏崎地域振興局農業振興部）